立西巻き



［校長先生つぶやき、つぶやく（校長だより）］

尼崎市立立花西小学校
2026.11.19（木）
No.30

その歴史２０年

語彙力をはじめとする子どもたちの学力向上策のひとつとして、当時の第 11 代校長・辻先生が「漢字検定を校内で実施できないか」と提案し、賛同くださった PTA の皆さんのご協力のもとで始まったのが、本校の校内漢字検定です。今から 20 年前のエピソードです。

先日、PTA からのお便りで、今年度も漢字検定を実施する旨のお知らせがありました。当時の校長先生や教職員、そして PTA の皆さんの「子どもたちの学力を伸ばしたい」という熱い思いが、20 年の時を経た今なお大切に引き継がれています。この PTA 活動の取組は、本当に素晴らしく、本校の大自慢です。

ご存じのとおり、漢字検定や英語検定、算数検定などの各種検定試験は、通常、大学や外部施設など、子どもたちの日常から少し離れた会場で行われます。「会場までの移動が大変そう」「初めての場所に一人で受検させるのは不安」といった理由で、受検をためらうご家庭も少なくありません。しかし、一定の条件を満たして運営体制が認められれば、準会場として校内での実施が可能になります。その高いハードルを乗り越え、子どもたちが普段通い慣れた学校で受検できる環境を実現・維持してくださっている PTA の皆さんのご尽力には、本当に頭が下がります。

そう、尼崎市内の公立小学校で校内受検ができるのは、なんと

立花西小学校だけです！

この取組が何より素晴らしいのは、以下の点です。

・担当者の交代を経ながらも、保護者や地域のボランティアによって長年途切れることなく継続されていること
・当日の会場運営や試験中の見守りまで、すべて保護者ボランティアの皆様が担ってくださっていること
・毎年 100 名強（全校児童の約 4 人に 1 人）もの児童やご家族が受検に挑んでいること

これからもこの誇るべき伝統が末永く続いていくことを心から願っています。

なお、今年度の受検申し込みはまだ間に合うようです。1 年生レベルの 10 級から高校卒業レベルの２級まで幅広く実施され、お子様と一緒にご家族でチャレンジできるのも大きな魅力です。詳細は、PTA からのミマモルメ配信をご確認ください。 また、当日の運営を支えるボランティアスタッフも現在募集されています。準備や運営には多くのご苦労があるかと想像します。子どもたちの学力向上と地域のつながりづくりにご貢献くださっているスタッフの皆様に、心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします



寒くなってきました。

登校時、ポケットに手を入れたまま歩いている子どもを見かけます。両手がふさがっていると、つまずいた際にとっさに手をつけず、転倒して大きなけがにつながるおそれがあります。手袋を着用するなど、安全に登校できるよう防寒の準備をお願いいたします。 寒い冬も、子どもたちが元気に登校してくる姿を楽しみにしています。(*^-^*)

